

理学部 講演会

DataScience Café

データサイエンスカフェ

南極フィールド調査から探る 南極氷床融解メカニズムと海水準上昇

近年、南極氷床融解の加速が相次いで報告され、地球温暖化に伴う近未来の急激な海水準上昇が社会的にも強く懸念されています。一方で、このような氷床の融解がさらなる大規模な南極氷床融解を引き起こし、やがて地球環境の激変を招くのかについては、まだ不明な点も多く残されています。また、南極氷床融解や海水準上昇の将来予測には精密な数値モデルシミュレーションが不可欠ですが、いまだ南極氷床の融解メカニズムは十分に理解されておらず、将来予測における大きな不確定要素となっています。この問題の解決のためには、現地調査によって過去の氷床変動の地形・地質学的記録を取得・分析し、この「過去の事実」をモデルシミュレーションによって解析することで、南極氷床の融解メカニズムを解明していくことが非常に重要です。(極地研WebSiteより)



講師

菅沼 悠介 (すがぬまゆうすけ)

国立極地研究所 准教授
南極観測隊に複数回参加。

「チバニアン」の立役者の一人。
千葉県市原市の地層「千葉セクション」が地質年代境界のGSSP (国際境界模式地) に選ばれた研究チームの中心メンバーである。著作の【地磁気逆転と「チバニアン」】は講談社科学出版賞を受賞している。



菅沼さんは、2月に南極から帰国したばかりです。
現地の映像を沢山用意して頂いています。
南極の自然を感じてみませんか



お申込方法 申込期限 4月13日(木)まで

<https://forms.gle/xqMBfjoewFtKn1xB8>

参加を希望の方は、上記のURLまたはQRコードから申込フォームにアクセスして、必要事項をご入力の上、お申込みください。



日時

2023年4月14日(金) 16:30~17:30

参加対象は学内関係者限定とさせていただきます

会場

理学部3号館A201 (参加自由)
対面・オンライン(Zoom)のハイブリッド開催

問合せ先：理学部・地球科学分野 加々島慎一 (kagashima@sci.kj.yamagata-u.ac.jp)

主催/山形大学理学部 協力/山形大学データサイエンス教育研究推進センター